



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エクセディ

コード番号 7278 URL <http://www.exedy.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久川 秀仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 豊原 浩

TEL 072-822-1152

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	195,714	△1.2	16,499	16.6	15,627	17.8	10,770	24.1
28年3月期第3四半期	198,088	4.7	14,147	2.3	13,265	△16.4	8,676	9.9

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 △1,371百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 4,500百万円 (△61.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	224.23	—
28年3月期第3四半期	180.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	265,116	168,283	59.5	3,285.86
28年3月期	259,273	173,526	62.4	3,366.87

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 157,851百万円 28年3月期 161,693百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
29年3月期	—	35.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	250,000	△7.0	18,500	△13.2	18,000	△0.6	12,000	△0.1
								249.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	48,593,736 株	28年3月期	48,593,736 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	554,170 株	28年3月期	568,968 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	48,033,130 株	28年3月期3Q	48,019,145 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)「株式付与ESOP信託口」及び「役員報酬BIP信託口」が保有する当社株式を、期末自己株式数に含めております。

(29年3月期3Q 125,281株、28年3月期 104,226株)。

また、「株式付与ESOP信託口」及び「役員報酬BIP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式に含めております(29年3月期3Q 113,788株、28年3月期3Q 110,201株)。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及びご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. 補足情報	9
(ご参考) 所在地別の概況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、堅調な受注及び前連結会計年度に納入を開始した製品の受注増加により、数量ベースでは増加したものの、為替変動の影響により、売上高は微減となりました。利益面におきましては、研究開発費の増加等はあるものの、原価低減活動により、営業利益は増加いたしました。当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,957億円(前年同期比1.2%減)、営業利益164億円(前年同期比16.6%増)、経常利益156億円(前年同期比17.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益107億円(前年同期比24.1%増)となりました。

①セグメント情報

報告セグメントの種類別の概況は下記のとおりであります。

[MT(手動変速装置関連事業)]

受注が堅調に推移したものの円高影響もあり、売上高は503億円(前年同期比6.3%減)となりました。セグメント利益は、売上高の減少により76億円(前年同期比1.3%減)となりました。

[AT(自動変速装置関連事業)]

前連結会計年度に納入を開始した製品の受注増加により、売上高は1,239億円(前年同期比1.7%増)となりました。セグメント利益は、売上高の増加により92億円(前年同期比42.5%増)となりました。

[その他]

2輪製品の受注増加はあるものの、建設機械用部品の受注減及び円高影響により、売上高は213億円(前年同期比4.7%減)となりました。セグメント利益は売上高の減少により2億円(前年同期比70.5%減)となりました。

②所在地別の情報

所在地別の概況は下記のとおりであります。

[日本]

前連結会計年度に設立したエクセディシンガポールへの商流の変更影響により、売上高は928億円(前年同期比3.8%減)となりました。営業利益は、売上高の減少に伴い、83億円(前年同期比3.0%減)となりました。

[米国]

自動車メーカー向けのAT製品の受注増加はあるものの、円高の影響により、売上高は388億円(前年同期比5.9%減)となりました。営業利益は、メキシコでの受注増加により24億円(前年同期比148.8%増)となりました。

[アジア・オセアニア]

前連結会計年度に納入を開始した製品の受注増加により、売上高は594億円(前年同期比5.0%増)となりました。営業利益は、売上高の増加により54億円(前年同期比19.2%増)となりました。

[その他]

売上高は44億円(前年同期比24.6%増)、新製品立ち上げ費用により営業損失は、3億円(前年同期は42百万円の営業利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は2,651億円となり、前連結会計年度末に比べ58億円増加いたしました。主な内容は、現金及び預金の増加153億円、受取手形及び売掛金の減少37億円、有形固定資産の減少23億円、棚卸資産の減少13億円であります。負債は968億円となり、前連結会計年度末に比べ110億円増加いたしました。主な内容は、社債の増加100億円、長期借入金の増加66億円、支払手形及び買掛金の減少26億円、短期借入金の減少22億円であります。純資産は1,682億円となり、52億円減少いたしました。主な内容は、為替換算調整額の変動による減少117億円、利益剰余金の増加74億円(親会社株主に帰属する四半期純利益による増加107億円、剰余金の処分(配当金)による減少33億円)、非支配株主持分の減少14億円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年4月25日に公表いたしました平成29年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,975	47,298
受取手形及び売掛金	48,530	44,753
商品及び製品	13,109	12,375
仕掛品	6,049	5,624
原材料及び貯蔵品	11,120	10,893
繰延税金資産	3,873	3,353
短期貸付金	231	31
その他	6,751	5,224
貸倒引当金	△223	△127
流動資産合計	121,420	129,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	36,089	37,907
機械装置及び運搬具(純額)	63,210	56,570
工具、器具及び備品(純額)	7,905	7,039
土地	11,549	11,626
建設仮勘定	8,354	11,611
有形固定資産合計	127,109	124,755
無形固定資産		
投資その他の資産	3,759	3,527
投資有価証券	3,292	3,947
長期貸付金	311	283
退職給付に係る資産	1,049	1,080
繰延税金資産	544	560
その他	1,827	1,573
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	6,984	7,404
固定資産合計	137,853	135,687
資産合計	259,273	265,116

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,266	16,624
短期借入金	9,751	7,540
1年内償還予定の社債	7,000	7,000
未払費用	8,801	8,234
未払法人税等	1,839	1,426
製品保証引当金	1,399	1,335
その他	7,439	8,070
流動負債合計	55,497	50,231
固定負債		
社債	-	10,000
長期借入金	21,629	28,295
長期末払金	356	204
繰延税金負債	2,403	2,107
退職給付に係る負債	5,178	5,290
資産除去債務	28	28
その他	653	673
固定負債合計	30,250	46,601
負債合計	85,747	96,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,284	8,284
資本剰余金	7,564	7,559
利益剰余金	140,318	147,722
自己株式	△1,444	△1,401
株主資本合計	154,721	162,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	920	1,221
為替換算調整勘定	6,224	△5,488
退職給付に係る調整累計額	△172	△46
その他の包括利益累計額合計	6,971	△4,313
非支配株主持分	11,833	10,432
純資産合計	173,526	168,283
負債純資産合計	259,273	265,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年12月31日まで)
売上高	198,088	195,714
売上原価	160,025	154,933
売上総利益	38,063	40,781
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	4,774	4,474
製品保証引当金繰入額	211	647
役員報酬及び給料手当	6,538	6,090
退職給付費用	98	149
研究開発費	4,014	4,252
その他	8,279	8,667
販売費及び一般管理費合計	23,915	24,281
営業利益	14,147	16,499
営業外収益		
受取利息	101	119
受取配当金	51	49
持分法による投資利益	47	285
投資有価証券売却益	375	-
その他	724	934
営業外収益合計	1,301	1,388
営業外費用		
支払利息	819	752
社債利息	26	28
為替差損	519	972
固定資産除売却損	126	96
その他	692	410
営業外費用合計	2,183	2,260
経常利益	13,265	15,627
税金等調整前四半期純利益	13,265	15,627
法人税、住民税及び事業税	3,498	3,939
法人税等調整額	415	△19
法人税等合計	3,913	3,920
四半期純利益	9,352	11,707
非支配株主に帰属する四半期純利益	675	937
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,676	10,770

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年12月31日まで)
四半期純利益	9,352	11,707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△354	301
為替換算調整勘定	△4,481	△13,470
退職給付に係る調整額	△9	126
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△36
その他の包括利益合計	△4,851	△13,078
四半期包括利益	4,500	△1,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,580	△514
非支配株主に係る四半期包括利益	△80	△856

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

著しい変動がないため、記載しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年12月31日まで)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	MT	AT	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,755	121,890	175,645	22,442	198,088
セグメント間の内部 売上高又は振替高	89	1,507	1,597	4,892	6,489
計	53,845	123,398	177,243	27,335	204,578
セグメント利益	7,748	6,484	14,233	684	14,917

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械用駆動伝導装置事業、2輪用クラッチ事業、運送業等を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年12月31日まで)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	MT	AT	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,378	123,940	174,318	21,396	195,714
セグメント間の内部 売上高又は振替高	86	1,454	1,541	4,734	6,275
計	50,464	125,395	175,859	26,131	201,990
セグメント利益	7,645	9,241	16,886	202	17,088

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械用駆動伝導装置事業、2輪用クラッチ事業、運送業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	14,233	16,886
「その他」の区分の利益	684	202
セグメント間取引消去	300	581
のれんの償却額	△33	△89
全社費用(注)	△1,021	△1,237
その他	△15	155
四半期連結損益計算書の営業利益	14,147	16,499

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新製品開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントにおいて、該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

各報告セグメントにおいて、該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

各報告セグメントにおいて、該当事項はありません。

5. 補足情報

(ご参考) 所在地別の概況は下記のとおりであります。

・前第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年12月31日まで)

(単位:百万円)

	日本	米国	アジア・ オセアニア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	96,550	41,293	56,637	3,607	198,088	-	198,088
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,377	807	9,219	130	33,535	△33,535	-
計	119,928	42,101	65,857	3,738	231,624	△33,535	198,088
営業利益	8,641	979	4,557	42	14,221	△73	14,147

・当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年12月31日まで)

(単位:百万円)

	日本	米国	アジア・ オセアニア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	92,899	38,854	59,464	4,496	195,714	-	195,714
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	28,154	1,203	8,891	122	38,371	△38,371	-
計	121,054	40,057	68,355	4,619	234,086	△38,371	195,714
営業利益	8,384	2,436	5,430	△371	15,881	617	16,499

(注) 上記は、従来の「所在地別セグメント情報」と同様の基準及び方法で作成されたものであり、あくまで参考情報としての記載であります。